

参 考 文 献

- 石田志朗・中村徹也 1972年 『京都大学理学部構内遺跡発掘調査の概要』
- 泉 拓良 1977年 「京都大学植物園遺跡」『佛教藝術』115号
- 泉 拓良・宇野隆夫 1985年 「遺跡」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 泉 拓良・三宅由美 1986年 「京都大学北部構内B E 33区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和58年度』
- 泉 拓良ほか1977年 「農学部B E 33の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 1985年 「遺物」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 五十川伸矢 1986年 「京都大学医学部構内A N 20区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和58年度』
- 伊東隆夫・林 昭三・島地 謙 1985年 「北白川追分町遺跡出土の木材の樹種」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 梅原末治 1923年 「京都帝国大学農学部敷地ノ石器時代遺跡」『京都府史蹟勝地調査會報告 第5冊』
- 1935年 「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」『京都府史蹟名勝天然紀念物調査報告 第16冊』
- 1936年 『摂津阿武山古墓調査報告』（『大阪府史蹟名勝天然紀念物調査報告第7輯』）
- 岡田保良・吉野治雄 1979年 「京都大学理学部遺跡B E 29区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 1980年 「京都大学本部構内A W 28区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
- 小野山節・清水芳裕 1979年 『和歌山県北山村下尾井遺跡』和歌山県東牟婁郡北山村教育委員会・北山村下尾井遺跡調査会
- 小野山節・都出比呂志 1973年 『高槻市安満遺跡の条里遺構』
- 川上 貢 1977年 「京都大学構内における史跡の文献的考察」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会
- 川上 貢・浜崎一志 1984年 「昭和57年度京都大学構内遺跡調査の概要」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和57年度』
- 京大調査会(京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会)
- 1977年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 京大埋文研(京都大学埋蔵文化財研究センター)
- 1978年a 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 1978年b 『京都大学埋蔵文化財調査報告 第1冊——京大農学部遺跡B G 36区——』
- 1979年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 1980年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』

参 考 文 献

- 1981年a 『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白川北殿北辺の調査——』
- 1981年b 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』
- 1983年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 1984年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和57年度』
- 1985年 『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 1986年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和58年度』
- Kokawa, S. 1966年 Late Cenozoic flora of the Boso Peninsula, Japan I. Upper Pleistocene floral change. *Journ. Biol. Osaka City Univ.* 17.
- 島田貞彦 1924年 「京都市北白川追分町発見の石器時代遺跡」『考古学雑誌』第14巻第5号
- 1931年 「山城幡枝の土器」『考古学雑誌』第21巻第3号
- 島田貞彦・水野清一・小川五郎・三宅宗悦 1929年 「摂津国高槻「摂津農場」石器時代遺跡調査報告」『人類学雑誌』第44巻第7号
- 清水芳裕 1984年 「京都大学北部構内B F 33区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和57年度』
- 杉山信三 1962年 「白河御堂」『院の御所と御堂——院家建築の研究——』（『奈良国立文化財研究所学報 第11冊』）
- 中堀謙二 1985年 「北白川追分町遺跡の古植生の復原」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 中村徹也 1973年 『京都大学農学部総合館周辺埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1974年a 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅰ』
- 1974年b 『京都大学理学部ノートバイオロン実験装置室新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1975年 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅱ』
- 浜崎一志 1983年 「浄蓮華院と吉田構——応仁の乱後の吉田の復元的考察——」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 1984年 「マイクロコンピュータと遺跡調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和57年度』
- 日浦 勇・宮武頼夫 1985年 「北白川追分町遺跡出土の昆虫遺体」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 東大阪市遺跡保護調査会 1976年 『縄手遺跡2』
- 藤岡謙二郎 1973年 「北白川扇状地と教養部構内発見の遺物包含層並びにその先史地理学的意義」『人文』第19集
- 南木睦彦・山尾正之・粉川昭平 1985年 「北白川追分町遺跡出土の種実類」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ——北白川追分町縄文遺跡の調査——』
- 百原 新・粉川昭平 1985年 「メタセコイア植物群の種構成——前期更新統菖蒲谷層における植物化石群集——」『第32回日本生態学会講演要旨集』
- 横山浩一・佐原 眞 1960年 『京都大学文学部博物館考古学資料目録 第Ⅰ部 日本先史時代』京都大学文学部
- 渡辺善次郎 1983年 『都市と農村の間——都市近郊農業史論——』
- 渡辺 誠 1982年 『京都府長岡京市下海印寺遺跡範囲確認調査報告書』（『長岡京市文化財調査報告書 第10冊』）

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学埋蔵文化財研究センター要項

- 第1条 京都大学に埋蔵文化財研究センター(以下「センター」という。)を置く。
- 第2条 センターは、京都大学敷地内の埋蔵文化財についての調査研究及びその保存のため必要な業務を行う。
- 第3条 センターにセンター長を置く。
- 2 センター長は、京都大学の専任の教授をもって充てる。
 - 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
 - 4 センター長は、センターの所務を掌理する。
- 第4条 センターに、必要に応じて、助教授、助手その他の職員を置く。
- 第5条 センターに、調査研究及び保存に関する業務を処理するため、研究部を置く。
- 2 研究部に主任を置き、前条の教官をもって充てる。
 - 3 主任は、研究部の業務をつかさどる。
- 第6条 センターにセンターの事業に関する基本的計画、人事その他管理運営に関する重要事項を審議するため、運営協議会を置く。
- 2 運営協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
 - (1) センター長
 - (2) センターの研究部の主任
 - (3) 前2号以外の学識経験者のうちから総長の委嘱した者 若干名
 - (4) 事務局長及び施設部長
 - 3 センター長は、運営協議会を招集し、議長となる。
 - 4 前各項に規定するもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、運営協議会が定める。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項はセンター長が定める。

センター長	上田 正昭(教養部教授)	研究部主任	清水 芳裕(文学部助手)
運営協議会委員	池田 次郎(理学部教授)	研究部研究員	五十川伸矢(文学部助手)
〃	西川 幸治(工学部教授)	〃	浜崎 一志(工学部助手)
〃	小野山 節(文学部教授)	〃	宮本 一夫(文学部助手)
〃	石田 志朗(理学部助教授)	〃	三宅 由美(施設部教務補佐員)
〃	足利 健亮(教養部助教授)	事務室	大八木邦夫(施設部事務官)
〃	久保庭信一(事務局長)	〃	和田 俊司(施設部事務官)
〃	井内 昭(施設部長)	〃	梅川 厚子(施設部技術補佐員)
〃	石黒 弘(施設部長)	〃	藤澤かおる(施設部技術補佐員)
		〃	中村 美代(施設部事務補佐員)

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学構内遺跡調査会規約

第1条 この会は、京都大学構内遺跡調査会(以下「調査会」という。)と称し、京都大学の委託により同大学構内における建築物新営工事等に伴い必要な敷地内の遺跡調査を行うことを目的とする。

第2条 調査会は、事務所を京都市左京区北白川西町財団法人阪本奨学会内に置く。

第3条 調査会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 京都大学の委託により行う当該敷地内の埋蔵文化財についての発掘調査
- (2) 前号の調査により出土した埋蔵文化財の保存、管理に関する事項の審議
- (3) 埋蔵文化財の調査に関する発掘調査概要報告書の作成
- (4) その他必要とする事項

第4条 調査会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 委員

イ 京都大学の学識経験者 若干名

ロ 新営工事等の敷地の属する京都大学の部局の長または部局附属施設の長

ハ 新営工事等の敷地の所在する地域の文化財保護行政当局の推薦する者 若干名

- (3) 監事 若干名

2 会長は、前項2号イの委員の推薦する者とする。

3 会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員及び監事は、会長が委嘱する。

5 第1項第2号ロ及びハの委員は、当該敷地内の遺跡調査に関する委員としての任務が終わったときは、退任する。

第5条 会長は、調査会を代表し、業務を総括する。

2 委員は、委員会を構成し、委員会の議決に基づく業務を執行する。

3 監事は、調査会の会計を監査する。

第6条 委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員会は、会長が招集し、議長となる。

3 委員会は、新営工事等の敷地が京都市以外の地域にある場合で、必要と認めたときは、部会を置くことができる。

第7条 第3条の発掘調査の実施に当たるため、調査会に調査班を置く。

2 調査班は、調査班長、調査員及び調査補助員をもって組織する。

3 調査班長は、委員会の議に基づき会長が委嘱する。

4 調査員及び調査補助員は、調査班長の推薦により会長が委嘱する。

京都大学構内遺跡調査要項

第8条 調査会の事務を処理するため、調査会に事務局を置く。

2 事務局に職員若干名を置く。

3 職員は、会長が任免する。

第9条 調査会の経費は、京都大学から支出される調査委託費をもって充てる。

第10条 調査会は、4月1日に始まる年度ごとに、事業報告書及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、年度終了後3ヶ月以内に委員会の承認を受けるものとする。

第11条 この規約に定めるもののほか、調査会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

会長 池田次郎(理学部教授)

委員	川上 貢(工学部教授)	石田志朗(理学部助教授)
	亀井節夫(理学部教授)	西村 進(理学部助教授)
	西川幸治(工学部教授)	足利健亮(教養部助教授)
	小野山節(文学部教授)	清水芳裕(文学部助手)
	大山喬平(文学部教授)	松村圭三(事務局庶務部長)

規約第4条1項(2)ロ

異 友正(理学部長)	伊藤洋平(医学部長)
半田 肇(医学部附属病院長)	

規約第4条1項(2)ハ

浪貝 毅(京都市埋蔵文化財センター所長)
泉 拓良(奈良大学講師)

監事	金 光男(施設部企画課長)	井上博正(医学部附属病院管理課長)
	西村真次(理学部事務長)	小林久雄(医学部事務長)
事務局員	大八木邦雄(施設部事務官)	松本一代(調査会事務員)
	和田俊司(施設部事務官)	

調 査 班

調査班長・主任 清水芳裕, 五十川伸矢, 浜崎一志, 宮本一夫, 三宅由美

調査員 伊藤康人, 榎阪昭則, 江郷雅樹, 大本真理, 徐 朝竜, 菅井敏美, 古賀秀策,
竹村厚司, 竹村恵二, 玉田芳英, 寺島千春, 早川秀樹, 南 秀雄, 宮川禎一,
森本 晋

調査補助員 青木祥子, 石崎朋子, 井上正夫, 氏岡真士, 内田良子, 加茂友基, 亀田智子,
川島はる代, 菊原 淳, 岸本直文, 鬼内秀起, 木村 浩, 桐原文彦, 桑水流裕子,
近藤寿夫, 咲本勝巳, 茂木恵利子, 庄栄一郎, 高木直親, 高橋朋子, 高味寿光,
田隈せき子, 立花由香, 谷口徳彦, 谷口由利子, 中嶋敏弘, 那須久代, 西川恵美子,
早瀬美子, 広川 守, 福井文夫, 堀江正明, 堀田圭美, 三宅亜子, 宮本利夫,
森下章司, 矢野健一, 山本直好, 吉井秀夫

京都大学構内遺跡調査要項

作業員 五十棲彰雄, 上田助清, 川久保喜美栄, 川久保信子, 木村謙治, 木村行利,
河野佳子, 古前健次, 鈴木昌代, 田中周子, 谷 正市, 橋本庄次, 橋本俊夫,
濱田武子, 長谷川智造, 福田文治, 松尾順子, 松尾フク, 三浦信一, 三谷正三,
安田秀男, 山中丑治, 山中貞男, 吉田龍太郎

北部構内B F31区整理調査班

所在地 京都市左京区北白川追分町
工事名 理学部プラズマ実験装置室新営
調査期間 昭和59年4月1日～同9月30日
面積 737㎡
班長・主任 清水芳裕, 五十川伸矢
調査員 8名
調査補助員 2名
作業員 6名

病院構内A J 19区発掘・整理調査班

所在地 京都市左京区吉田橋町
工事名 医学部附属病院整備
調査期間 昭和59年10月11日～同11月14日
面積 260㎡
班長・主任 清水芳裕, 浜崎一志
調査補助員 2名
作業員 11名

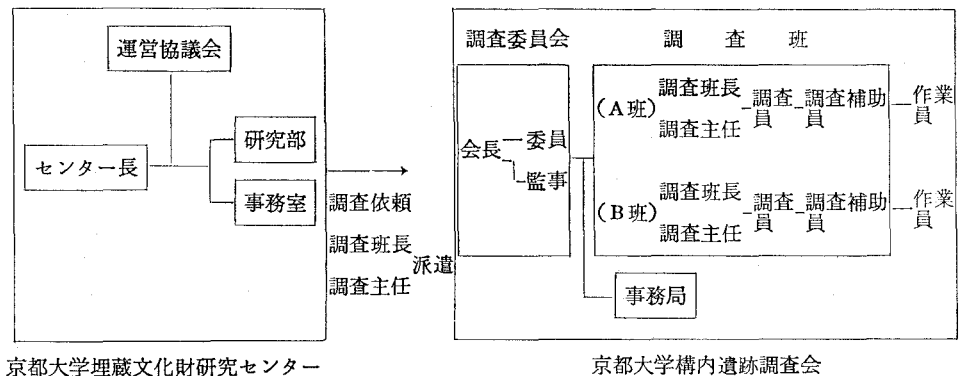
医学部構内A N 18区発掘調査班

所在地 京都市左京区吉田近衛町
工事名 医学部基礎校舎新営
調査期間 昭和59年9月1日～
昭和60年3月31日
面積 1920.4㎡
班長・主任 五十川伸矢, 宮本一夫
調査員 4名
調査補助員 23名
作業員 14名

病院構内A F 19区発掘・整理調査班

所在地 京都市左京区聖護院川原町
工事名 医学部附属病院
全身用 NMR-CT 装置棟新営
調査期間 昭和59年5月16日～同12月28日
面積 863㎡
班長・主任 浜崎一志, 宮本一夫
調査員 7名
調査補助員 20名
作業員 12名

京都大学構内遺跡の調査体制



京都大学構内遺跡調査要項

表7 京都大学構内遺跡のおもな調査

(地点は図版1を参照, 文献中「埋」は京大埋文研, 「調」は京大調査会をさす。)

年 度	遺 跡 名	地 点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
大正12年	農 学 部	1・2	濱田 耕作	表採・ 試掘			縄文土器, 石器	梅原23, 島田24	
13年	農 学 部	不明	藤本理三郎				石 棒	横山・ 佐原60	
昭和4年	大 阪 府 大 安 満		島田 貞彦, 水野清一ほか	発 掘			弥生土器	島田・水 野ほか29	
9年	大阪府阿 武山古墳		梅原 末治	発 掘			乾漆棺, 玉 飾枕	梅原36	
10年	北 白 川 小 倉 町		梅原 末治				縄文土器, 石器	梅原35	
31年	農 学 部	3	羽館 易	採 集			縄文土器		
46年	農 学 部	4	石田 志朗	採 集			弥生土器	埋79	
47年	農 学 部	5		採 集			石 棒		
	大 阪 府 大 安 満		小野山 節 都出比呂志	事前発掘	1500	条里の溝	弥生土器, 石器	小野山・ 都出73	建物をずらし 条里の溝を 保存
	追分地藏	6	石田 志朗 中村 徹也	事前発掘	600		弥生土器, 石器	石田・ 中村72	
	教 養 部	7	藤岡謙二郎	工事中採 集・実測			縄文土器	藤岡73	
48年	農 学 部	8	中村 徹也	事前発掘	13	瓦 溜	縄文土器, 瓦(平安)	埋78b	瓦溜埋戻し
	農 学 部	9	中村 徹也	事前発掘	600		縄文土器, 土師器	中村73	
	農 学 部	10	中村 徹也	事前発掘	40		縄文土器		
	植 物 園	11	中村 徹也	事前発掘	400	縄文後期 甕棺・配 石遺構	縄文土器	中村74b, 泉77	甕棺・配石 遺構の移築 を決定
49年	農 学 部	12	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村74a	
	農 学 部	13	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村75	
50年	教 養 部	14	小野山 節 中村 徹也	事前発掘	750		縄文土器		
51年	農 学 部 B E 33区	16	泉 拓良	事前発掘	900	縄文晩期 土壌墓	縄文土器, 土師器, 瓦	調77	
	病 院 A E 15区	19	岡田 保良	事前発掘	2200	古代・中 世池, 溝, 土器溜	土師器, 瓦, 陶磁器	調77, 埋81a	
	植 物 園 B D 35区	29	吉野 治雄	保 存				調77	甕棺・配石 の移築復原

京都大学構内遺跡調査要項

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和51年	病 院 A H17区	34	泉 拓良	事前発掘	200	近世溝、 井戸、集 石	土師器、瓦	埋78 a	
	和歌山県 瀬 戸		丹羽 佑一	事前発掘	300	縄文時代 土墳墓	縄文土器、 人骨	埋78 a	
52年	病 院 A F14区	39	岡田 保良 宇野 隆夫	事前発掘	800	古代護岸、 中世溝、 井戸	土師器、瓦、 陶磁器	埋78 a、 埋81 a	
	医 学 部 A O18区	41	泉 拓良 吉野 治雄	事前発掘	1200	中世溝、 土器溜、 井戸	土師器、瓦、 陶磁器	埋79	
53年	理 学 部 B E29区	54	岡田 保良 宇野 治雄	事前発掘	500	弥生中期 方形周溝 墓、中世 火葬塚	弥生土器、 土師器、瓦	埋79	火葬塚と方 形周溝墓を 現地保存
	農 学 部 B G32区	55	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	100	古代土坑、 溝	縄文土器、 土師器	埋79	
	北 部 B G31区	56	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	650	縄文晩期 埋没林	縄 文 土 器	埋80 埋85	
	本 部 A W28区	57	岡田 保良 吉野 治雄	事前発掘	500	近世白川 道	陶磁器、土 師器、銭貨	埋80	
54年	医 学 部 A P19区	74	清水 芳裕 五十川伸矢 吉野 治雄	事前発掘	2776	中世井戸、 溝、土器 溜	土師器、瓦、 陶磁器、旧 石器	埋81 b	
	本 部 A T27区	75	五十川伸矢	事前発掘	400	奈良後期 堅穴住居、 中世土墳 墓、近世 道路	土師器、須 恵器、白磁	埋81 b	堅穴住居跡 を現地保存
55年	本 部 A T27区	89	泉 拓良	事前発掘	115	近世道路、 堀	土師器、近 世陶磁器	埋81 b	
	本 部 A X28区	90	泉 拓良 五十川伸矢 浜崎 一志	事前発掘	1120	近世白川 道、中世 土器溜、 井戸、建 物	土師器、瓦、 陶磁器、銅 鏝(弥生)、 磨製石鏝	埋83	
	京 都 府 美 月		泉 拓良 清水 芳裕 五十川伸矢 浜崎 治雄 吉野	事前発掘	1468	弥生中・ 後期水路、 土坑、中 世土器溜	弥生土器、 打製石斧、 瓦器、陶磁 器	埋83	立合調査中 に遺跡発 見、工事を 中断し発掘 調査
	教 養 部 A O21区	91	吉野 治雄	事前発掘	112	中世井戸、 土墳墓	土師器、瓦 器、陶磁器	埋83	
	本 部 実験排水	98	清水 芳裕	立 合		流路、中 世土器溜	土師器、丸 瓦	埋83	遺構実測

京都大学構内遺跡調査要項

年 度	遺 跡 名	地点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和56年	理 学 部 B D 30区	109	泉 拓良 浜崎 一志	事前発掘	272	古代建物、 近世瓦溜	土師器、瓦、 陶磁器	埋83	
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓良 清水 芳裕 五十川 伸矢 浜崎 一志	事前発掘	1500	弥生土坑、 弥生配石、 古墳時代 土坑	縄文土器、 硬玉管玉、 弥生土器、 製塩土器	埋84	
	本 部 A X 28区	110	浜崎 一志	事前発掘	34	中世土器 溜	土師器、瓦、 陶磁器、硯	埋83	
	教 養 部 A P 22区	111	五十川 伸矢 飛野 博文	事前発掘	1716	古墳、古 代梵鐘鑄 造遺構、 中世門、 溝、墓	縄文土器、 弥生土器、 須恵器、土 師器、鋳型、 溶解炉	埋84	梵鐘鑄造遺 構を現地保 存
	京 都 市 本 山			分布調査			縄文土器、 緑釉陶器、 灰釉陶器	埋83	
57年	京 都 府 中 海 道		泉 拓良	試 掘	20	中世土器 溜	縄文土器、 土師器	埋84	
	病 院 A F 15区	122	清水 芳裕 浜崎 一志	事前発掘	1028	中世井戸、 溝、土坑	土師器、瓦 器、白磁	埋84	
	農 学 部 B F 33区	123	清水 芳裕 浜崎 一志	事前発掘	787	縄文住居 跡、中世 土坑	縄文土器、 土師器	埋84	縄文住居跡 を現地保存
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓良	事前発掘	297	古代製塩 炉	縄文土器、 弥生土器、 製塩土器	埋84	古代製塩炉 を移築保存
	本 部 A T 29区	124	泉 拓良 飛野 博文	事前発掘	890	中世濠、 建物	土師器、瓦 器、陶磁器	埋86	
	農 学 部 B E 33区	125	泉 拓良 飛野 博文	事前発掘	803	近世・中世 水田、溝	土師器、瓦、 陶磁器	埋86	
58年	医 学 部 A N 20区	134	泉 拓良 五十川 伸矢	事前発掘	863	中世井戸、 土取り穴	須恵器、瓦 器、土師器	埋86	
	北 部 B F 31区	135	清水 芳裕 五十川 伸矢	事前発掘	737	縄文埋没 林、古代 ・中世溝	縄文土器、 土師器、緑 釉陶器	第2章	
59年	病 院 A F 19区	141	浜崎 一志 宮本 一夫	事前発掘	863	近世池、 井戸、野壺	縄文土器、 蓮月焼	第3章	
	病 院 A J 19区	142	清水 芳裕 浜崎 一志	事前発掘	260	中世土坑、 近世土取 り穴	土師器、 近世陶磁器	第1章	
	医 学 部 A N 18区	143	五十川 伸矢 宮本 一夫	事前発掘	1920	中世井戸、 土取り穴、 中世梵鐘 鑄造遺構	土師器、 瓦器、鋳型		発掘中

京都大学構内遺跡調査要項

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和59年	北 部 B E 33区	144	五十川伸矢	立 合			土師器		中世包含層
	病 院 A G 13区	145	清水 芳裕	立 合					遺跡なし
	医 学 部 A M 20区	146	宮本 一夫	立 合			土師器		中世包含層
	教 養 部 A L 22区	147	清水 芳裕	立 合					遺跡なし
	本 部 A Z 30区	148	清水 芳裕	立 合			土師器		中世包含層
	北 部 B F 32区	149	清水 芳裕	立 合					遺跡なし
	病 院 A F 20区	150	浜崎 一志	立 合					遺跡なし
	本 部 A Y 30区	151	宮本 一夫	立 合			中世陶器		中世包含層
	本 部 A V 29区	152	清水 芳裕	立 合					遺跡なし